

平成29年度 地域ケアプラザ事業計画書

1 施設名

横浜市並木地域ケアプラザ

2 事業計画

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのようにおこなっていくのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分（区と協議の上、策定して下さい。）

1 全事業共通

地域の現状と課題について

当ケアプラザ担当エリアは、約40年ほど前から入居が始まった高層集合住宅群と戸建て住宅が広がる閑静な住宅街に存在します。近年では、湾岸エリアを中心に、新たな集合住宅等の建設も進みましたが、街開発から30～40年以上の年数を経過し、徐々に高齢化（並木1丁目で38%、富岡東エリアは21%前後）も進み、介護問題などが深刻度を増しつつあります。また、一部地域の比較的新しい集合住宅では地縁のつながりが弱く、当該住民へのアプローチも課題となりつつあります。

一方、身近な地域で行われるサロン活動や体操教室などの地域の福祉活動は長年継続して実施されています。これらの福祉活動を今後も継続できるように、新たな担い手の育成など、地域とともに取り組むことが今後ますます求められています。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

地域の方や福祉保健従事者、学校や施設などからの幅広い相談・問い合わせに対応できるように、全職員が常に“公共の施設”としての意識を持ち適宜対応します。

加えて、定期的を実施している事業（「介護者の集い」や「子育てサロン」「障がい者青年学級」など）を通じて、参加者から寄せられる相談や個々のニーズ等に対応していきます。

また、地域活動交流・地域包括支援センター（生活支援体制整備含）・居宅介護支援・通所介護のそれぞれの部門が、お互いの役割と機能を理解した上で連携を図り、適切に相談対応ができるように努めます。

(2) 各事業の連携

1 介護保険事業においては、担当職員は利用者・ご家族の意向に寄り添った支援を行うとともに、日頃から、個々の支援において地域包括・地域交流・生活支援の担当職員とも連携を図るようにしています。また、ケアプラザ職員として「地域に向けて何ができるか」についても意識して業務に取り組みます。

2 指定管理部門（地域活動交流・地域包括支援センター・生活支援体制整備）においては、「個別の支援から地域の支援へ」を意識し、地域の事業への協力や出張相談などは5職種で分担して行っています。定例ミーティングで地域の情報の共有、それぞれの事業の意見交換・進捗確認・ふり返りを行っています。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- 1 常勤職員については、資格要件等職員配置基準を満たした配置を行うことはもちろん、法人の人材育成計画に則り、ベテラン・中堅・新人のバランスを考慮し、多方面の経験を活かした人員配置を行っています。
- 2 法人で作成した「地域ケアプラザ業務指針」や「求められる職員像」を活用し、社会福祉協議会の運営する地域ケアプラザ職員として、地域支援を基本とした職員の育成に努めます。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

よりよい地域支援を実現できるよう、地区社協、自治会町内会、近隣地域ケアプラザや区役所、区社会福祉協議会など関係機関と連携を図ります。

- 1 自治会町内会・地区社会福祉協議会・地区民生委員児童委員協議会・近隣施設等関係機関との連携を図り、横浜市社会福祉協議会の進める「身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業」に区社協とともに取り組みます。
- 2 地域ケア会議や地域の団体の交流会、会場利用団体の交流会等を通じて地域課題の共有化を図るとともに、福祉保健活動団体同士のつながりが持てるよう、情報交換や活動紹介の機会をつくります。
- 3 地域の活動団体や地域の施設等（幼稚園や小学校等）と協力した取組みを行うとともに、地域に出向くことで関連機関・団体等との関係づくりを進めます。

(5) 区行政との協働

金沢区地域福祉保健計画「いきいき金沢・ささえあいプラン」の推進をはじめ、地域の課題を把握・共有しながら、地域の方とともに解決できるように、関係各署とともに取り組みます。

- 1 地域福祉保健計画地区別計画の推進について、地域支援チームの一員として積極的に携わり、区役所・区社会福祉協議会、近隣ケアプラザと連携しながら地域の取組みを支援します。
- 2 また、地域包括支援センターで関わるケースの中で特に課題を多く抱えたケースの支援について、毎月の定例会を通して区所管課と情報を共有するとともに、協働して対応します。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- 1 地域ケアプラザの事業等を通じて、子育て・高齢・障がいなど様々な対象の方が「集える場」の提供を行います。
- 2 子育て世代や障害のある方々の顔の見える関係づくり、仲間づくりのきっかけとなる場を提供します。
- 3 高齢者の介護予防や健康づくり、仲間づくりにつながる事業を企画します。
- 4 日頃、ケアプラザにあまり縁のない世代や男性も事業に参加できるよう、夜間枠の活用等の工夫をして事業を企画します。
- 5 福祉保健活動等に関心のある方をボランティア活動や地域活動につなげられるような事業の企画を行い、人材発掘・育成に努めます。
- 6 ボランティア団体、地域団体と協働し、その力を活かした事業を開催することで、ボランティアの育成につなげます。
- 7 併設施設の地域活動ホームと協働して事業を実施します。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- 1 地域のボランティア団体や当事者団体の活動の拠点として、会場を提供します。
- 2 福祉保健関係団体にケアプラザを活用していただけるよう、広く情報発信します。
- 3 ケアプラザで活動する団体が、得意を発揮できるような機会を企画します。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- 1 新たなボランティア人材を発掘するために、活動のきっかけとなるような講座を企画します。
- 2 ケアプラザや地域で活動をされているボランティアの方々に、ケアプラザ事業の講師等を依頼することで、ボランティア人材の育成・活動支援を行います。
- 3 「ボランティア活動をしたい」「ボランティアによる支援をお願いしたい」という地域のニーズに対し、ボランティア活動者の調整を行います。
- 4 ボランティア相談に対応できるよう、地域の関係団体や区社協等と連携を図りながら支援します。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- 1 各事業実施時及び会場利用受付時も地域の声を聞く機会として捉え、来館される方々からの情報収集に取り組みます。
- 2 関係機関・団体の会議、行事等に参加し情報収集に取り組みます。また事業のチラシ等の配布や掲示を依頼し、情報提供を行うことで、関係機関・団体との連携を高めます。
- 3 地域ケアプラザに登録する福祉保健活動団体の情報を地域に向けて発信します。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

横浜市社会福祉協議会の運営する地域ケアプラザとして、「身近な地域のつながりづくり」「共助の層を厚くする」を使命に、高齢になっても「住み慣れた場所で暮らせるように」「地域で元気に活躍してもらえるように」、地域活動交流・地域包括支援センターの内部連携はもとより、区社協の生活支援コーディネーターほか関係機関と協働しながら、地域の中に「ご近所どうしの見守り・ささえあいの仕組み」や「仲間づくり・集いの場」を整備します。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- 1 高齢者の日常生活に関するニーズについて、シニアクラブや自治会のサロン等に出向いての情報収集はもとより、包括支援センターに寄せられる相談やケアマネジャーから得られる情報等、ケアプラザの各機能を有効活用しての把握に努めます。
- 2 地域情報・社会資源把握については、「地域アセスメントシート」等を活用し、地域活動交流や地域包括センターの職員と一緒に、情報の整理・確認を行いながら地域づくり・関係づくりに取り組みます。

(3) 連携・協議の場

1 所内及び関係機関へのアプローチ

地域アセスメント等で把握した課題については、定期的に地域活動交流・地域包括センター職員との共有を図り（5職種ミーティングを毎月実施）、また、必要時は区役所・区社会福祉協議会・近隣ケアプラザと協働して解決に向けて取り組みます。

2 地域へのアプローチ

日頃より、地区内のシニアクラブやサロン・介護予防活動団体・ボランティア団体・地区民生委員児童委員協議会・地区社会福祉協議会等諸団体とのコミュニケーションを図り、ネットワークの構築・強化に取り組みます。

3 協議・検討の場

地域ケア会議や上記ネットワークの会議等の場で「地域で気になること、困っていること」等を協議する機会（年4回）を設け、課題の解決につなげます。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

担当エリア内のシニアクラブやサロンは、多くが自治会町内会ごとに構成されており、個別に関わることが多いです。一方、地区社会福祉協議会との関わりにおいては、連合町内会エリアを対象としますので、広域な展開を意識した取組が求められます。

現在、金沢シーサイドタウン地区において、広域で活動するボランティア組織の仕組みづくりを目指して、区社会福祉協議会・富岡東ケアプラザと協働して取り組んでいます。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

1 社会福祉協議会の運営する地域包括支援センターとして、区社会福祉協議会や地区社会福祉協議会、地域の福祉保健関係者との連携・協力を大切に「頼りにされる相談窓口」を目指します。

2 また、より身近な場所で相談が受けられるように、シニアクラブや自治会・町内会のサロンなど地域の方々が集まる場に積極的に出向きます。

3 地域ケア会議や支えあいネットワークの場を有効に活用し、関係機関・団体との情報共有を密にします。

②実態把握

1 相談対応においては、相談者との信頼関係を大切に考え、親切丁寧な対応に努めます。地域包括支援センターとしての責務を意識し、ケアプラザまで来るのが難しい方の場合には自宅を訪問してヒアリングを行い、相談者本人やご家族に寄り添った対応を心がけます。また、アンケート調査などを行い、正しく地域の実態を把握するよう努めます。

2 記録や情報の大切さを常に意識して業務に取り組みます。

3 民生委員や行政機関、ケアマネジャー等の関係機関とも連携を図り、お互いに協働・役割分担し、見守り体制を構築しながら切れ目のない支援を目指します。

③総合相談支援

- 1 地域の方やケアマネジャー等の関係機関・団体からの幅広い相談に対して、ケアプラザの全職員が相談対応できるよう体制を常に整えるとともに、問合せに対して迅速、的確に情報提供できるよう職員教育を実施します。また、高齢者施設や医療機関、配食・送迎サービスなどの福祉関連情報についての資料を窓口を設置し、必要時アナウンスができるようにしています。
- 2 誰もが気軽に安心して相談できる窓口となるように、小さな相談も拾い上げ、各部門で連携しながら適切な対応ができるように努め、必要に応じて継続した対応を図ります。
- 3 遠距離ゆえにケアプラザまで相談に来られない地区に対し、出張相談所を設け、適切な情報提供や関係機関や制度に繋がります。

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- 1 成年後見制度や日常生活自立支援事業について、繰り返し普及・啓発を行い、専門機関とも連携しながら適切な支援を行います。
- 2 遺言や相続などの「高齢期における心配ごと」に関する情報提供を地域に向けて積極的に行い、「自分らしい老後」を考えていただくための啓発を行います。
- 3 悪質商法などの消費者被害を少しでも減らせるように、地域に向けた啓発を行い、被害相談に対する適切な支援を行います。
- 4 「介護者のつどい」において、上記1、2については行政書士の方を招致し「相続・遺言と成年後見制度」の講演を行い、3については金沢警察署生活安全課の方を招致し「高齢者犯罪被害の実態等と予防方策」の講演を行います。
また、「介護者のつどい」では、介護をしている方々の交流の場を設けるとともに、認知症や実際の介護に役立つ学習会を開催します。
- 5 区社会福祉士部会では、定期的な情報交換や勉強会を開催するとともに、ケアマネジャーに対して成年後見制度の研修を開催します。
- 6 区内で成年後見に携わっている区役所や弁護士等と定期的に事例検討会や情報交換を行い、専門家と繋がりがやすい土壌を形成します。

②高齢者虐待への対応

- 1 地域に向けて「高齢者虐待とは何か」という虐待防止の基礎知識について普及啓発に努めます。
- 2 高齢者虐待に関わる機関・団体等とのネットワークを活用し、高齢者虐待の早期発見や予防・防止に向けた取り組みを行います。
- 3 高齢者虐待対応における市町村権限行使に当たっての協力と養護者支援に積極的に取り組みます。
- 4 区社会福祉士部会として、高齢者虐待の防止についての取り組みを検討します。

③認知症

- 1 認知症の相談に対して、正しい情報提供と適切な支援ができるよう研修会等に積極的に参加するとともに、職員間で情報共有し能力向上に努めます。
- 2 本人だけでなく家族に対する支援も視野に入れながら、幅広い視点で対応していきます。
- 3 認知症等のご家族を介護されている介護者のため、気軽に参加でき、実際の介護に役立ててもらう「介護者のつどい」を開催し介護者を支援していきます。
- 4 認知症キャラバンメイトグループ「ロバの会」の後方支援をします。
- 5 認知症の人やご家族が早期に相談に繋がるための地域への働きかけや認知症初期集中支援チーム等との連携に取り組みます。
- 6 認知症で判断能力が低下しても、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、成年後見制度の利用について普及啓発活動を行います。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- 1 地域への出張講座や地域のサロン・行事などへの参加を通して、地域の方に介護保険制度の啓発やケアプラザ事業の周知を行います。
- 2 民生委員と地域包括支援センター・ケアプラザ職員との情報交換会を年2回以上実施し、地域の高齢者の状況および支援や連携について検討していきます。
- 3 「あんしん連携カード」の普及啓発に努め、ケアマネジャーと民生委員との連携のツールとしての活用を図ります。
- 4 出張講座未実施地域へ積極的にアプローチし、新たに講座を実施できるよう働きかけます。

②医療・介護の連携推進支援

- 1 区主任ケアマネジャー部会主催で「ケアマネジャーと薬剤師との情報交換会」を実施します。
- 2 区内の地域包括支援センターで協働し、「医療ソーシャルワーカーとの情報交換会」を開催します。
- 3 協力医による健康相談事業を実施します。(月2回)
- 4 北部主任ケアマネジャー共催で、医師・薬剤師・看護師・ケアマネジャー・区役所・包括センターが参加する「在宅医療連絡会」(年2回)を実施します。
- 5 社会問題となっている「介護離職」をなくす為、就労している方向けの「認知症理解・介護」をテーマとした新たな講座を実施します。

③ケアマネジャー支援

- 1 区内北部ブロック主任ケアマネジャーで共催して、ケアマネジャー同士の連携およびスキルアップを目的とした事例検討会を開催します。(年2回)
- 2 区役所・ケアマネ倶楽部・区主任ケアマネジャー部会合同でケアマネジャーを対象とした研修会を企画・実施します。
- 3 地域包括支援センターの3職種で連携しながら、ケアマネジャーからの相談への対応やサービス担当者会議への参加に積極的に取り組みます。
- 4 区内主任ケアマネジャーが交替で区ケアマネ倶楽部役員会に出席し、ケアマネジャーのニーズを把握し、情報提供や支援を行っていきます。
- 5 区主任ケアマネジャー部会で協働して、区内の主任ケアマネジャーを対象とした研修、連絡会を開催しスキルアップを目指します。
- 6 区主任ケアマネジャー部会で協働して、新任・就労予定のケアマネジャーを対象とした初任者研修を開催します。
- 7 区内北部ブロック主任ケアマネジャー共催で「ケアマネカフェ」を開催し、ケアマネジャーとの情報交換、業務上の相談支援を行います。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

個別レベルの地域ケア会議では、個別課題の解決、ケアマネジメント支援、地域包括支援ネットワークの構築を目指します。また、日常生活圏域の地域ケア会議では地域課題の発見、ネットワーク機能の構築、地域づくりなどを目指します。今年度は今までのケア会議の結果をふまえ、地域に新たなネットワークを構築できるように取り組みます。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

地域の高齢者が日常生活において、本人ができることはできる限り行うことを基本に、ご利用者の主体的な活動と地域活動への参加意欲を高められるよう支援します。

- 1 地域における健康づくり講座や、サロン、シニアクラブなどの活動の場に出向き、介護予防の普及・啓発や情報提供を行うとともに、事業への参加に向けてのコーディネートを行っていきます。
- 2 民生委員や保健活動推進員等と連携し、介護予防の普及啓発を行います。
- 3 地域活動交流部門と連携し、よこはまシニアボランティアポイント制度を活用し、高齢者の活躍の場を提供し介護予防につながる生きがいづくりを支援します。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

介護予防のきっかけづくりにとどまらず、日常生活の中で継続的に介護予防に取り組むことが出来るよう、参加者が主体的に取り組むことのできる支援を行います。

- 1 元気づくりステーション
区役所と連携を図りながら、ロコモティブシンドローム、口腔、認知症予防、栄養改善等のテーマに、グループ参加者が主体的に取り組むことができるよう支援を行います。
- 2 介護予防普及啓発活動
介護予防に関する、栄養・口腔・認知症・ロコモティブシンドロームに関する講

<p>演会や講座等を実施します。</p> <p>3 既存のグループへの活動支援 地域のシニアクラブや自主活動を行なっているグループに向け、介護予防に関する出張講座や活動継続のための運営支援を行います。</p> <p>4 認知症予防 認知症予防に取り組む自主グループの活動支援、認知症啓発活動などの取り組みを行います。また、キャラバン・メイトと連携して事業を行うとともに、キャラバンメイトグループ「ロバの会」の活動を支援します。</p> <p>5 よこはまウォーキングポイントを活用し、現役世代からの健康づくりを支援していきます。</p> <p>6 地域の中で介護予防活動を行う方々の活動を支援し、また必要時介護予防活動を担う人材の発掘・育成を行います。</p>
--

その他

<p>併設施設との連携</p> <p>併設している地域活動ホームシーサイドとは、それぞれの事業や特徴を相互に理解し協力関係を構築します。また、地域住民に対しそれぞれの施設や業務内容をPRしていくための事業を協同して実施します。</p> <p>1 地域ニーズに合わせた事業実施 全館イベントの開催や運営会議等への参加、自主事業への協力など相互に関係しながら事業を展開します。</p> <p>2 相互協力にもとづいた運営 併設施設との覚書にもとづき、水道光熱費、施設の保守・改修等を共同で行い、効率的な管理を目指します。</p>

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

<p>ア 施設の維持管理について</p> <p>当施設は、乳幼児やご高齢の方、障がいのある方など様々な方々にご利用いただいています。安心、安全に利用できる施設となるよう、適正な管理・運営に努めます。</p> <p>1 衛生管理 快適・安全に利用していただけるよう、日常清掃や定期清掃により施設を清潔に保ちます。利用者・来館者の衛生環境向上のため、玄関およびデイルーム・トイレ出入口に吸水吸油マットの設置を導入しています。</p> <p>2 法令にもとづいた施設・設備の保守管理 建築基準法・消防法等の法令にもとづき適正に保守管理を行うとともに、専門業者による定期点検と、職員による日常点検を通じて安全確保に努めます。</p> <p>3 計画的な施設・設備の改修 快適かつ安全に利用できるよう計画的に施設および設備の補修を実施します。</p> <p>4 緊急時の対応 施設や設備の破損や故障については、利用時にご迷惑がかからぬよう関係機関と協議して迅速に対応します。</p>

イ 効率的な運営への取組について

公的施設の指定管理者であることを認識し、限られた予算内で適正な運営を行うため、経費の節減や資源の有効活用を心がけます。

- 1 予算管理にもとづく効率的な経営
コスト意識を持ち、予算内で効率的な運営を行うため、月ごとの収支状況を確認しながら経費節減や資源の有効活用に努めます。
- 2 省エネルギー対策やリサイクル等への取り組み
不要な電力消費を避け、エアコン等の温度調節を徹底します。また、裏紙の活用など、日常的にリサイクルを心がけます。

ウ 苦情受付体制について

館内及びサービス利用者の方、及び周辺にお住まいの方からのご意見を頂くための仕組みを設け、適宜対応します。

- 1 苦情の受付・解決
法人の苦情解決規則に基づき、苦情受付責任者及び担当者を任命、館内に掲示し、苦情の対応を進めます。また、法人内に第三者委員（苦情解決調整委員）を設置し、受付機会を増やす取り組みを進めます。
- 2 「ご意見箱」を常設
館内に「ご意見箱」を設置し、開館時間は常にご意見を頂けるよう取り組みます。また、事業参加者や利用者アンケート等も実施します。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

「事故・災害・事件対応マニュアル」を整備し、事故、感染症や災害などにも備えるとともに、事故発生時には施設内、法人内及び関係行政機関と速やかに連絡が取れるよう、連絡体制を整えています。

また、特別避難場所としての役割を認識し、備蓄物資を適切に管理するとともに、災害時における人員の確保、役割の執行が行えるよう、関係行政機関と連携して体制を整備します。

館内利用団体に対しては、避難経路を毎回利用時に伝え、必要な災害を想定した避難訓練を年2回実施するとともに、津波対策避難訓練も実施し、緊急時に対応できる組織づくりに努めます。

オ 事故防止への取組について

施設内に留まらず、法人内他施設と情報を共有し、分析・予防を検討することにより効率的な事故予防に努めます。

- 1 事故や感染症、火災等の発生ゼロを目指し、ケアプラザ全体で安全管理に取り組みます。
- 2 職員会議で事故・リスクの共有を行い防止策を検討します。
- 3 地震や津波を想定した災害対策について、マニュアルを活用しながら対処訓練等を行います。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

法人にて制定した「個人情報の保護に関する規程」及び「地域ケアプラザ等における個人情報の取扱基準」に基づき、個人情報に係る事故防止の取組を徹底します。

1 個人情報の管理

個人情報が含まれる記録やデータ保存媒体等は施錠管理を徹底し、必要時以外の持ち出しを原則禁止するとともに放置しないよう徹底します。やむを得ず外部に持ち出す場合も、訪問先からの直帰を禁止するなど細心の配慮に努めます。

2 パソコンのパスワード設定

パソコンはパスワードを設定し、外部の者が使用できないようにします。また、パスワードは定期的に変更し、より厳重な管理を徹底します。

3 個人情報の回覧

個人情報の回覧にあたっては、内部が見えないケースに入れて行き、退出時にはキャビネットに収納し、机上に放置することがないようにします。

4 守秘義務の徹底

職員だけでなくボランティア等事業に携わる者すべてに守秘義務について明文化したものを配布・説明し、守秘義務の徹底を図ります。

キ 情報公開への取組について

1 情報公開の取り組み

法人にて制定した「保有する情報の公開に関する規程」に基づき適切に対応します。

- (1) 規程に基づいて、保有している情報を開示します。ただし、個人のプライバシーや法令等の規制で公にすることが出来ない情報など、開示できないものを除きます。
- (2) 公表に際しては、個人の不利益にならないことや責任者の判断を得ること等を徹底します。
- (3) 施設概要やサービス内容を地域の方にわかりやすく提供できるよう、閲覧用の事業報告書・決算書、その他情報公表用資料を窓口を設置します。

2 運営状況等の公開について

法人の運営状況について、事業報告書・決算書の本会ホームページへの掲載等、積極的に情報の公開に取り組みます。施設の事業についても、定期的に広報紙を発行し、地域の方々に周知していきます。

ク 人権啓発への取組について

価値観や思想の多様化している社会の中で、「人権」への意識も人それぞれですが、「人権尊重」の思想は本会の活動理念「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作ります」と相通じるものと考えます。

- 1 日常的に、「高齢者虐待防止」「認知症の理解」「障がいのある方への配慮・理解」等をベースとした地域住民に向けた啓発を行います。また、介護保険事業においては、業務マニュアルの中に倫理規程を設け「利用者本位」「自立支援」の方針に基づいた利用者支援（処遇）に努めています。
- 2 施設を利用する住民の方々のみならず、業務に従事する職員間であっても「互いを尊重し、相手に対する配慮ができていないか」をふりかえる機会を設けています。

ケ 環境等への配慮及び取組について

ヨコハマ3R夢プランにもとづき、ゴミの少量化、資源の有効活用、地球温暖化防止対応など環境に配慮します。

1 ゴミの少量化

貸館にあたってはゴミの持ち帰りを引き続きお願いしていきます。また、施設独自に推進員を定め、参加人数を踏まえた資料作成や両面コピーの推奨など、ゴミの少量化に努めます。

2 資源の有効活用

ゴミを排出する場合はヨコハマ3R夢プランにもとづき適切に分別を行い、大切な資源としてリサイクルに活かす取り組みを実施します。またリサイクルペーパーなどエコ商品を積極的に購入します。地域の方とともに発展途上国のワクチン推進の為にエコキャップ回収協力を継続します。

3 地球温暖化防止への対応

利用されている方の状況を踏まえながら、環境に配慮した温度設定に取り組みます。また、不必要な照明をこまめに消灯する等積極的に節電に努めます。

4 その他の環境への配慮

職員の外出時は自動車の利用は極力避け、徒歩や自転車、公共交通機関を利用して化石燃料の節約に努めます。また、会車利用時はアイドリングストップなどエコドライブを実施し、公共施設として模範となるような行動に努めます。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
- ・ 保健師 1名（常勤兼務）
- ・ 主任ケアマネジャー 1名（常勤）
- ・ 社会福祉士 1名（常勤）
- ・ 介護予防プランナー 1名（非常勤）

《目標》

- 要支援1・2と認定された地域の高齢者の主体性を尊重し、行動意欲を高め、家族等や地域資源を活かしたプラン作成により、住み慣れた地域で自立した生活が継続できるよう介護予防、介護予防ケアマネジメントのサービス計画書を作成します。
- 「本人ができることはできる限り行うこと」を基本とし、ご利用者のできることをご利用者とともに発見し、ご利用者の主体性を尊重し、家族等の協力を得ながら自立した生活が継続できるよう支援を行います。
- サービス計画書作成にあたっては、事業者との連携を図り、生活機能評価や認定審査会資料の情報をもとに、インフォーマルサービスを含めたプランづくりに努めています。
- 委託契約を結んでいる居宅介護支援事業所との連携、およびサービス計画書作成の助言を行うことをご利用者の自立につながるサービス計画書作成に努めました。

《実費負担》

- 利用者のご負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 介護予防支援事業所内で毎月定期カンファレンスを行い、情報共有、事例検討を行いました。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
122	117	120	127	126	130
10月	11月	12月	1月	2月	3月
133	135	142	146	150	151

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤兼務）
- ・ 介護支援専門員 7名
 - 常勤兼務 1名
 - 常勤専従 1名
 - 非常勤専従 4名
 - 非常勤兼務 1名

《目標》

- 要介護認定を受けている在宅の利用者が、住み慣れた地域でその人らしい生活を継続できるよう、ご利用者を取り巻く状況を総合的にとらえたご利用者主体のケアプラン作成に努めます。
- 法令遵守を基本とした公正中立な立場で関係機関と連携し、多様で総合的なサービス調整を行います。
- 安心と満足につながる丁寧な支援プログラムをふまえ、ご利用者の自立支援と介護者にも無理のない、安定した介護体制づくりを支援します。
- 地域の関係機関との連携に努め、より良いケアプラン作成に活かします。
- 介護支援専門員として守るべき法令や倫理を自覚するとともに、更なる能力向上を図るために、内外の研修に参加し、支援の質の向上に努めます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ご利用者のご負担はありません

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域の身近な相談窓口としての地域ケアプラザの機能を活かした総合的な支援を行っています。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
165	165	165	165	165	165
10月	11月	12月	1月	2月	3月
165	165	165	165	165	165

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 生活指導（相談援助等）
- 機能訓練
- 介護サービス
- 健康状態の確認
- 送迎・入浴・給食

《実費負担》

● 1割負担分

（要介護1）	614円
（要介護2）	725円
（要介護3）	837円
（要介護4）	948円
（要介護5）	1,060円

加算額	入浴加算	54円
	体制強化加算Ⅱ	7円
	中重度ケア体制加算	49円

● 2割負担分

（要介護1）	1,227円
（要介護2）	1,450円
（要介護3）	1,673円
（要介護4）	1,896円
（要介護5）	2,119円

加算額	入浴加算	108円
	体制強化加算Ⅱ	13円
	中重度ケア体制加算	97円

介護職員処遇改善Ⅰ 所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算

●食費負担 750円

●行事費用（通常のプログラム以外に行う特別な行事） 実費

《事業実施日数》 週7日（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 10:15～15:20

《職員体制》

- ・管理者 1名（常勤）
- ・生活相談員 3名（常勤・非常勤）
- ・看護職員 8名（非常勤・兼務）
- ・介助員 10名（非常勤）
- ・機能訓練指導員 8名（非常勤・兼務）
- ・運転員 7名（非常勤）

《目標》

介護保険法の遵守を基本に、ご利用者一人ひとりの個別性を大切にした通所介護計画を作成します。また、社会福祉協議会が運営する通所介護事業所として、地域の要介護者の要望に応えられるよう、サービスの質の向上に努めます。

サービス提供時間の変更に伴う利用者のニーズの変化について振り返り、利用者の意思を尊重し心身の状況や環境に応じて、自立した生活を送れるよう取り組んでいきます。

- 介護保険法を正しく理解し、根拠をもって業務にあたるよう、また通所介護計画の理解を深める為、所内研修を実施します。
- 職員個々のアセスメント能力の向上を図ります。また、ご利用者の情報に関する報告、連絡、相談を職員間で徹底します。
- 個人情報について漏えい事故がないよう、職員一人ひとりが意識をもって取り組みます。
- 職員によりサービスの質が異なることのないよう、積極的に職員研修を実施し業務の質の向上及び標準化を図ります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 個々のご利用者の立場に立った、安心・安全・安定を基本とした、質の高いサービス提供を行います。
- 介護保険事業所としてご利用者・ご家族、居宅介護支援事業所から選ばれる施設運営を目指します。
- 介護保険の基本である「自立支援」の理念にもとづいた、利用者本位のサービス提供を心がけます。
- 多くのご利用者に来ていただくため、各居宅支援事業所と連携をはかるとともに、機能訓練や認知症予防を重視したレクリエーションに力をいれていきます。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
630	651	630	651	651	630
10月	11月	12月	1月	2月	3月
651	630	588	588	588	651

● 第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 生活指導（相談援助等）
- 機能訓練
- 健康状態の確認
- 送迎・給食・入浴

《実費負担》

● 1割負担分	（要支援1）		1,766円
	（要支援2（1））		1,766円
	（要支援2（2））		3,621円
体制強化加算Ⅱ	（要支援1）	1ヶ月	26円
	（要支援2（1））	1ヶ月	26円
	（要支援2（2））	1ヶ月	52円
● 2割負担分	（要支援1）		3,531円
	（要支援2（1））		3,531円
	（要支援2（2））		7,241円
● 体制強化加算Ⅱ	（要支援1）	1ヶ月	52円
	（要支援2（1））	1ヶ月	52円
	（要支援2（2））	1ヶ月	103円

※要支援2（1）は要支援2で週1回程度ご利用の方
 要支援2（2）は要支援2で週2回程度ご利用の方

- 介護職員処遇改善加算Ⅰ
 所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算します。

- 食費負担 750円

- 行事費用（通常のレクリエーション以外に行う特別な行事） 実費

《事業実施日数》 週7日（12月29日～1月3日を除く）

《提供時間》 10：15～15：20

《職員体制》

・ 管理者	1名（常勤）
・ 生活相談員	3名（常勤・非常勤）
・ 看護職員	8名（非常勤・兼務）
・ 介助員	10名（非常勤）
・ 機能訓練指導員	8名（非常勤・兼務）
・ 運転員	7名（非常勤）

《目標》

介護保険法の遵守を基本に、ご利用者一人ひとりの個別性を大切にした第1号通所介護計画を作成します。また、社会福祉協議会が運営する第1号通所介護事業所として、地域の要支援者の要望に応えられるよう、サービスの質の向上に努めます。

- 介護保険法を正しく理解し、根拠をもって業務にあたるよう、また介護予防通所介護計画の理解を深める為、所内研修を実施します。

- 職員個々のアセスメント能力の向上を図ります。また、ご利用者の情報に関する報告、連絡、相談を職員間で徹底します。
- 個人情報について漏えい事故がないよう、職員一人ひとりが意識をもって取り扱います。
- 職員によりサービスの質が異なることのないよう、業務の標準化を図ります。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 個々のご利用者の立場に立った、安心・安全・安定を基本とした、質の高いサービス提供を行います。
- 介護保険事業所としてご利用者・ご家族、居宅介護支援事業所から選ばれる施設運営を目指します。
- 介護保険の基本である「自立支援」と「介護予防支援」の理念にもとづいた、利用者本位のサービス提供を心がけます

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
12	12	12	12	12	12
10月	11月	12月	1月	2月	3月
12	12	12	12	12	12

平成29年度 「横浜市並木地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（一般会計）

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	16,403,780	0	16,403,780		16,403,780	横浜市より（施設使用料相当額を除く）
利用料金収入	471,000		471,000		471,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	1,977,500		1,977,500		1,977,500	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代						
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（施設使用料相当額）	△ 1,977,500		△ 1,977,500		△ 1,977,500	第3期の指定管理施設のみ
その他（法人負担分）	1,977,500	0	1,977,500	0	1,977,500	第3期の指定管理施設のみ
収入合計	18,852,280	0	18,852,280	0	18,852,280	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,491,000	0	12,491,000	0	12,491,000	
本俸	5,562,000		5,562,000	0	5,562,000	
社会保険料	1,616,000		1,616,000	0	1,616,000	
手当計	305,000		305,000	0	305,000	
健康診断費	15,000		15,000	0	15,000	
勤労者福祉共済掛金	7,000		7,000	0	7,000	ハマふれんど等
退職給付引当金繰入額	152,000		152,000	0	152,000	
その他	4,834,000		4,834,000	0	4,834,000	
事務費	1,788,000	0	1,788,000	0	1,788,000	
旅費	30,000		30,000	0	30,000	
消耗品費	100,000		100,000	0	100,000	
会議ठीい費	10,000		10,000	0	10,000	
印刷製本費	474,000		474,000	0	474,000	
通信費	200,000		200,000	0	200,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
備品購入費	500,000		500,000	0	500,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	0	0	
職員等研修費	10,000		10,000	0	10,000	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	40,000		40,000	0	40,000	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	15,000		15,000	0	15,000	
その他	409,000		409,000	0	409,000	
事業費	417,000	0	417,000	0	417,000	
運営協議会経費	42,000		42,000	0	42,000	指定額
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	375,000		375,000	0	375,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	3,157,000	0	3,157,000	0	3,157,000	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	指定額
光熱水費	1,308,000	0	1,308,000	0	1,308,000	
電気料金	436,000		436,000		436,000	
ガス料金	436,000		436,000		436,000	
水道料金	436,000		436,000		436,000	
清掃費	826,000		826,000	0	826,000	
修繕費	474,000	0	474,000	0	474,000	
機械警備費	145,000		145,000	0	145,000	
設備保全費	73,000	0	73,000	0	73,000	
空調衛生設備保守	3,000		3,000	0	3,000	
消防設備保守	13,000		13,000	0	13,000	
電気設備保守	31,000		31,000	0	31,000	
害虫駆除清掃保守	26,000		26,000	0	26,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	331,000		331,000	0	331,000	
公租公課	999,280	0	999,280	0	999,280	
事業所税	0		0		0	
消費税	999,280		999,280	0	999,280	
印紙税	0		0		0	
その他（ ）	0		0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費						
支出合計	18,852,280	0	18,852,280	0	18,852,280	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 「並木地域ケアプラザ」 収支予算書及び報告書（特別会計）

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	23,327,000		23,327,000		23,327,000	横浜市より
指定管理料（介護予防）	151,000		151,000		151,000	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000		5,789,000	横浜市より
利用料金収入	1,506,000		1,506,000		1,506,000	介護保険収入等充当分
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入			0		0	
自主事業収入	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代			0		0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
駐車場利用料金収入	0	0	0	0	0	
その他（ ）			0		0	
その他（ ）			0		0	
収入合計	30,773,000	0	30,773,000	0	30,773,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,209,000	0	27,209,000	0	27,209,000	
本俸	15,857,000		15,857,000		15,857,000	
社会保険料	2,500,000		2,500,000		2,500,000	
手当計	2,600,000		2,600,000		2,600,000	
健康診断費	58,000		58,000		58,000	
勤労者福祉共済掛金	26,000		26,000		26,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	4,550,000		4,550,000		4,550,000	
その他	1,618,000		1,618,000		1,618,000	
事務費	1,534,000	0	1,534,000	0	1,534,000	
旅費	80,000		80,000		80,000	
消耗品費	433,000		433,000		433,000	
会議ठी費	0		0		0	
印刷製本費	50,000		50,000		50,000	
通信費	250,000		250,000		250,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0		0	
その他			0		0	
備品購入費	10,000		10,000		10,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	38,500	0	38,500		38,500	
職員等研修費	70,000		70,000		70,000	
振込手数料	1,500		1,500		1,500	
リース料	530,000		530,000		530,000	
手数料	1,000		1,000		1,000	
地域協力費			0		0	
その他	70,000		70,000		70,000	
事業費	1,190,000	0	1,190,000	0	1,190,000	
協力医	630,000		630,000	0	630,000	指定額
介護予防事業	151,000		151,000	0	151,000	
生活支援体制整備事業費	309,000		309,000	0	309,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	100,000		100,000	0	100,000	
自主事業費	0	0	0	0	0	
管理費	840,000	0	840,000	0	840,000	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	指定額
光熱水費	348,000	0	348,000	0	348,000	
電気料金	128,000		128,000		128,000	
ガス料金	110,000		110,000		110,000	
水道料金	110,000		110,000		110,000	
清掃費	219,500		219,500	0	219,500	
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	
機械警備費	39,000		39,000	0	39,000	
設備保全費	19,500	0	19,500	0	19,500	
空調衛生設備保守	1,000		1,000	0	1,000	
消防設備保守	3,500		3,500	0	3,500	
電気設備保守	8,000		8,000	0	8,000	
害虫駆除清掃保守	7,000		7,000	0	7,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	0		0	0	0	
共益費	0		0	0	0	
その他	88,000		88,000	0	88,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他（ ）	0		0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分	0	0	0	0	0	
当該施設分	0	0	0	0	0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	30,773,000	0	30,773,000	0	30,773,000	
差引	0	0	0	0	0	

平成29年度 自主事業計画書

横浜市並木地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
布おもちゃの貸し出し	【目的】布おもちゃの貸出を通じた地域情報の把握とケアプラザのPR 【内容】布おもちゃの貸出 【対象者】子ども、高齢者、障がいのある方等の地域の方	通年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
青年学級 Hello !	【目的】義務教育を終了した障がい者の余暇支援 【内容】写真クラブ・カラオケ・調理・交流会 【対象者】金沢区在住在勤の障がいのある方	毎月第1火・第3日曜

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサロンなみき	【目的】子育てのための仲間づくりと地域情報の提供 【内容】ボランティアの協力による子育てサロン 【対象者】未就園児と保護者	毎月第3火曜

事業名	目的・内容	実施時期・回数
なごみサロンなみき	【目的】仲間づくりとシニアボランティアの育成 【内容】喫茶コーナーとフリースペースサロン事業 【対象者】地域の方	毎月第3火曜

事業名	目的・内容	実施時期・回数
並木団いールーム	【目的】ケアプラザ空白世代の取り込みと地域で顔なじみを作る 【内容】健康作り、ボランティア育成等多様な講座 【対象者】地域の方	隔月第2水曜

事業名	目的・内容	実施時期・回数
並木・富岡東地区学校と福祉施設の連絡会	【目的】福祉教育推進等を目的としたネットワークづくり 【内容】関係機関相互の情報交換 【対象者】並木・富岡東地区の学校と福祉施設	年1回 ・9月

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あけぼの幼稚園交流会	【目的】近隣幼稚園とケアプラザの交流事業 【内容】デイサービスでの歌遊び・手遊び等のプログラム 【対象者】幼稚園児	年1回 ・5月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
コーヒーサロン	【目的】新しい事業参加者の開拓と人材育成 【内容】コーヒーをツールとしたサロン(仲間づくり) 【対象者】地域の方	毎月第3水曜

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
いろいろチャレンジ「工作・クラフト」	【目的】小学生の余暇支援と他学年の交流 【内容】画用紙等身近な素材を使った工作教室 【対象者】近隣の小学生	年2回 ・8、12月

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児 余暇活動支援 サマーフレンド	【目的】金沢区ケアプラザ合同の夏休みの余暇支援 【内容】障がいのある児童とボランティアの交流 【対象者】金沢区在住の学齢期障害児	年2回 ・7、8月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障害児余暇支援 楽しいスポーツを しよう	【目的】障害のある子どもの余暇の充実 【内容】夏休みの障害児を対象とした余暇支援 【対象者】地域の障害のある子ども	年1回 ・8月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子の食育講座	【目的】食育を通じた親子の触れ合いとヘルスマイトのPR 【内容】食事についての講話と簡単な調理と実食 【対象者】幼児期のお子さんとその保護者	年1回 ・9月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢シーサイドタ ウン地区子供服交 換会	【目的】子供服のリサイクルと養育者の健康啓発 【内容】保健師による健康相談ブース、健康チェックコーナー設置 【対象者】地域の子育て中の養育者	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フレンド幼稚園交 流会	【目的】近隣幼稚園とケアプラザの交流事業 【内容】デイサービスでの歌遊び・手遊び等のプログラム 【対象者】幼稚園児	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すくすく 親子講座 ～ぷちぽけっと～	【目的】親子の仲間づくりと子育て支援 【内容】ベビーマッサージ、ベビースキンケア 【対象者】未就園児と保護者	年2回 10、11月

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
富岡第一地区 出張医療講演会	【目的】地域に向けた健康への意識づけ促進とケアプラザの周知 【内容】医療講演会 【対象者】地域の方	年1回 ・11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサポート システム説明会	【目的】子育てサポートシステムの周知協力 【内容】子育てサポートシステムの説明会 【対象者】利用希望者及び興味のある方	年1回 ・11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
活動ホーム合同企画 ふれあいハウス フェスタ	【目的】並木地域ケアプラザ及びシーサイドの地域への周知 【内容】食べ物屋台やフリーマーケット等で住民との交流 【対象者】地域の方	11月25日 年1回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
利用団体交流会	【目的】利用団体の関係づくり 【内容】利用団体の自己紹介とケアプラザとの意見交換 【対象者】利用団体	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢シーサイドタウン地区「お父さんと遊ぼう」	【目的】親子のスキンシップ、遊びのヒント、仲間づくり 【内容】プラレール等おもちゃ遊びと運動あそび指導 【対象者】未就園児とその保護者(父親限定)	年1回 ・12月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢シーサイドタウン地区「子どもといっしょにコンサート」	【目的】親子の触れ合い、参加の場の提供 【内容】小さな子ども連れでも気兼ねなく参加できるコンサート 【対象者】地域の方(親子連れ)	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すくすく親子講座 人形劇	【目的】人形劇活動団体の紹介とケアプラザのPR 【内容】人形劇のボランティアによる上演会 【対象者】小さな子どもから小学生高学年	年1回 ・3月

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
布おもちゃの貸出	地域の方々	0	0	0	0	0	0
	制限なし						
	0円						
青年学級Hello!	障害のある方	115,000	80,500	34,500	85,000	30,000	0
	20名/10名						
	300円・400円						
子育てサロンなみき	乳幼児と保護者	30,000	30,000	0	0	0	30,000
	制限なし						
	0円						
なごみサロンなみき	地域の方	199,000	79,000	120,000	0	180,000	19,000
	制限なし						
	100円						
並木ティールーム	地域の方	70,000	50,000	20,000	20,000	39,000	11,000
	30名程度						
	0円～500円						
並木・富岡東地区 学校と福祉施設の連絡会	地域の施設・学校職員	0	0	0	0	0	0
	20人						
	0円						
あけぼの幼稚園交流会	近隣幼稚園	0	0	0	0	0	0
	50人						
	0円						
コーヒーサロン	地域の方々	70,000	47,000	23,000	22,000	20,000	28,000
	20人						
	100円						
いろいろチャレンジ事業 「工作・クラフト教室」	小学生	38,000	34,000	4,000	3,000	30,000	5,000
	20人						
	100円						
サマーフレンド	障害児小・中学生	46,000	26,000	20,000	6,000	30,000	10,000
	10人						
	1,000円						
障害児余暇支援 楽しいスポーツをしよう	地域の方々	5,000	5,000	0	0	0	5,000
	制限なし						
	0円						
親子の食育講座	地域の方	15,000	13,500	1,500	0	15,000	0
	15人						
	100円						
金沢シーサイドタウン地区 「子供服交換会」	地域の方々	0	0	0	0	0	0
	制限なし						
	0円						
フレンド幼稚園交流会	近隣幼稚園	0	0	0	0	0	0
	20人						
	0円						

平成29年度 自主事業収支計画書

すくすく親子講座 “ぶちぼけっと”	未就園児と保護者	21,000	12,000	9,000	6,000	10,000	5,000
	15人						
	300円						
出張医療講演会	地域の方々	0	0	0	0	0	0
	50人						
	0円						
子育てサポートシステム 説明会	子育て養育者	0	0	0	0	0	0
	10人						
	0円						
活動ホーム合同企画 「ふれあいハウスフェスタ」	地域の方々	90,000	60,000	30,000	0	80,000	10,000
	300人						
	100円						
利用団体交流会	貸館利用団体	5,000	5,000	0	0	0	5,000
	30名						
	0円						
金沢シーサイドタウン地区 「おとうさんと遊ぼう」	地域の方々	0	0	0	0	0	0
	制限なし						
	0円						
金沢シーサイドタウン地区 「子どもといっしょにコンサート」	地域の方々	0	0	0	0	0	0
	制限なし						
	0円						
すくすく親子講座 “人形劇上演会”	地域の方々	8,000	8,000	0	3,000	0	5,000
	60人						
	0円						
		712,000	450,000	262,000	145,000	434,000	133,000

事業ごとに別紙に記載してください。

平成29年度 自主事業計画書

横浜市並木地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
体操教室 「ステップアップ2」	【目的】高齢期の健康づくり・転倒骨折予防に取り組む自主化したグループの後方支援 【内容】健康運動指導士による体操、ケアプラザ職員や協力医によるミニ健康講話、介護予防啓発など	4月～3月 月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日生鳥見ヶ丘 「元気づくりステーション」後方支援	【目的】元気づくりステーション事業。自主化したグループの後方支援 【内容】月2回の健康づくり体操。介護保険・介護予防についてのミニ講座等の実施	4月～3月 月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「音楽療法なみき 音楽倶楽部♪」	【目的】元気づくりステーション事業。自主化したグループの後方支援 【内容】音楽療法士による音楽療法、運動、口腔ケア、栄養、認知症予防、権利擁護などミニ講座の実施	4月～3月 月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ふれあいさざなみ 「元気づくりステーション」後方支援	【目的】元気づくりステーション事業。自主化したグループの後方支援 【内容】介護予防に関する企画講座等実施	4月～3月 月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張相談	【目的】地域包括支援センターが地域に出向くことにより、直接地域住民の声を聞くことができる。また地域包括支援センターの普及にも繋がる。 【内容】サロン・夏祭り等での出張相談	通年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張講座	【目的】地域包括支援センターの周知、情報提供、地域の方との顔が見える関係づくり 【内容】地域包括支援センターとは・介護保険制度・介護予防・口腔ケア・認知症・ロコモ・スリーA・消費者被害・振り込め詐欺防止等	通年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	【目的】介護者同士の情報交換や知識を取得できる場を設定することで、介護者が介護による精神的及び身体的負担を一人で抱え込まないように支援する 【内容】 ・「おしゃべりサロン」(5月・8月・1月・3月) ・「高齢者犯罪被害の実態と予防策」(6月) ・「相続遺言・成年後見制度」(7月) ・「横浜市立大学管弦楽団コンサート」(9月) ・「住まいの選択」(10月) ・「介護講習」(11月) ・「クリスマスお食事会」(12月) ・「スマートフォン講習」(2月)	5月～3月 11回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほのぼの出張相談	【目的】地域に出向いた相談窓口の設置による、地域ケアプラザの周知。地区社会福祉協議会及び他の地域ケアプラザと連携した地域の実態把握 【内容】金沢シーサイドタウン地区社会福祉協議会が主催するサロン「ほのぼの」に出張相談窓口を設置し、富岡東地域ケアプラザと並木	月1回・第3木曜

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「並木1丁目第三住宅」出張相談	【目的】地域に出向いた相談窓口の設置による、地域ケアプラザの周知。自治会や地区社会福祉協議会と連携した地域の実態把握 【内容】並木第三住宅自治会運営のサロンに相談窓口を開設	月1回・第2木曜

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域ケア会議	【目的】介護保険事業・行政・地域関係者とのネットワーク形成 【内容】個別事例をとおして「支援」についての共通理解を図る	年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ロバの会 後方支援	【目的】地域住民主体の認知症サポーター活動グループの後方支援 【内容】学校や行政機関等に出向いての認知症理解の啓発講座	通年

事業名	目的・内容	実施時期・回数
センターいきいき 「元気づくりステーション」後方支援	【目的】元気づくりステーション事業。自主化したグループの後方支援 【内容】介護予防に関する企画講座	4月～3月 月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康麻雀サロン	【目的】介護予防、閉じこもり予防、仲間づくり、地域参加 【内容】元気高齢者対象の麻雀をツールにしたサロン事業	4月～3月 月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
助け合いグループ 交流会	【目的】地域で助け合い活動を行っている団体の把握とネットワーク作り 【内容】情報交換および地域包括ケア、地区内ネットワークへの協力依頼	年1回 11月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者サロン交流会	【目的】地区内のシニアクラブ等サロンの活動を行っているグループの実態把握とネットワークづくり 【内容】地域で活動するサロングループの交流と情報交換	年1回 9月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティアグループ交流会	【目的】地区内でボランティア活動を行っているグループの実態把握とネットワークづくり 【内容】グループの交流と情報交換	年1回 2月

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア入門講座	【目的】地域のボランティア活動者の発掘と育成 【内容】活動者の体験発表等新たにボランティア活動へ誘う講座	年2回

平成29年度 自主事業計画書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア交流会	【目的】ボランティア活動への関心をつなぐ、客観的意見交換 【内容】入門講座参加者との座談会	年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
富岡第一地区 民生委員とケアマネジャーとの交流会	【目的】担当エリアの民生委員と地域包括支援センター、ケアマネジャーが連携して地域の要援護者を支えるための顔の見える関係づくり 【内容】認知症や独り暮らし高齢者の情報共有	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金沢シーサイドタウン地区民生委員とケアマネジャーの交流会	【目的】担当エリアの民生委員と地域包括支援センター、ケアマネジャーが連携して地域の要援護者を支えるための顔の見える関係づくり 【内容】介護予防・日常生活総合事業、生活支援体制整備事業の解説と地域で取り組みそうなことについての話し合い	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネカフェ	【目的】ケアマネジャーの交流・業務相談支援。主任ケアマネジャーとケアマネジャーの連携強化 【内容】情報提供、ケアマネジャー業務についての相談支援	年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ケアマネジャーと薬剤師との情報交換会	【目的】ケアマネジャーと薬剤師との連携促進。 【内容】意見・情報交換など	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
主任ケアマネジャーネットワーク	【目的】区域の包括主任ケアマネジャーのスキルアップと連携構築 【内容】情報交換、スーパービジョン、事例検討	年3回

平成29年度 自主事業収支計画書

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
体操教室 「ステップアップ2」後方支援	高齢者	0	0	0	0	0	0
	300人						
	300円						
日生鳥見ヶ丘 「元気づくりステーション」後 方支援	高齢者	0	0	0	0	0	0
	250人						
	2500円／年						
「音楽療法 なみき音楽倶楽部♪」 後方支援	高齢者	0	0	0	0	0	0
	350人						
	5000円／年						
ふれあいさざなみ 「元気づくりステーション」後 方支援	高齢者	0	0	0	0	0	0
	300人						
	100円／回						
出張相談	地域住民	0	0	0	0	0	0
	制限なし						
	0円						
出張講座	地域住民・老人会など	25,000	25,000	0	25,000	0	0
	制限なし						
	0円						
介護者のつどい	介護者・地域住民	22,000	22,000	0	12,000	0	10,000
	20名程度／回						
	0円						
ほのぼの出張相談	地域住民	0	0	0	0	0	0
	制限なし						
	0円						
「並木1丁目第三住宅」 出張相談	地域住民	0	0	0	0	0	0
	制限なし						
	0円						
地域ケア会議	介護保険事業所・地域関係者	0	0	0	0	0	0
	0円						
ロバの会 後方支援	地域住民	0	0	0	0	0	0
	制限なし						
	0円						
センターいきいき「元気づくり ステーション」後方支援	一般住民	0	0	0	0	0	0
	400人						
	200円／回						
健康麻雀サロン	高齢者	50,000	26,000	24,000	0	0	50,000
	20人／回						
	100円／月						
助け合いグループ交流会	地域住民	6,000	6,000	0	0	0	6,000
	20人						
	0円						

平成29年度 自主事業収支計画書

金沢シーサイドタウン地区 高齢者サロン交流会	地域の方	6,000	6,000	0	0	0	6,000
	20人						
	0円						
ボランティアグループ交流会	地域住民	6,000	6,000	0	0	0	6,000
	25人						
	0円						
ボランティア入門講座	地域住民	10,000	10,000	0	5,000	0	5,000
	20人						
	0円						
ボランティア交流会	地域住民	20,000	20,000	0	0	0	20,000
	10人／回						
	0円						
富岡第一地区民生委員と ケアマネジャーとの交流会	民生委員・ケアマネジャー	5,000	5,000	0	0	0	5,000
	30人						
	0円						
シーサイドタウン地区民生委 員とケアマネジャーとの交流 会	民生委員・ケアマネジャー	5,000	5,000	0	0	0	5,000
	50人						
	0円						
ケアマネカフェ	北部エリアのケアマネジャー	0	0	0	0	0	0
	15人／回						
	0円						
ケアマネジャーと薬剤師との 情報交換会	薬剤師・ケアマネジャー	0	0	0	0	0	0
	50人						
	0円						
主任ケアマネジャーネット ワーク	区内主任ケアマネジャー、他ケアマネジャー等	0	0	0	0	0	0
	制限なし						
	0円						
		155,000	131,000	24,000	42,000	0	113,000